

## ～しがぎん県内企業動向調査（特別項目②）～

2011年12月

～タイの洪水の影響について～  
 県内企業の約2割で影響あり

10月からタイでは、大規模な洪水に見舞われ、その被害や影響が広がっている。工場の浸水などの直接的影響や、サプライチェーン（原材料・部品等の調達網）の寸断などの間接的影響がみられ、県内企業にも影響を与えていると思われる。そこで、11年11月に実施した「県内企業動向調査」の中で、タイの洪水の影響について特別アンケートを実施し、その結果をまとめた。

調査名	：「県内企業動向調査」	
調査時期	：11月7日～21日	
調査対象先	：1,000社	
有効回答数	：532社（有効回答率 53%）	
うち製造業	：255社	（有効回答数の構成比 48%）
うち建設業	：89社	（ " 17%）
うち非製造業	：188社	（ " 35%）

今回の調査によると、現地の工場で浸水や生産停止などの直接被害はなかったものの、「取引関係上で直接的な被害があった」が1.3%、「間接的な被害があった」が16.8%となり、約2割（18.1%）の企業で何らかの被害や影響を受けていることがわかった。「わからない、把握できていない」とする回答が15.4%あり、また、「今後影響が出る可能性がある」とする企業もみられることから、洪水が長期化すれば被害や影響が拡大する恐れがある。

業種別にみると、製造業では「間接的被害があった」が19.9%にのぼり、特に、金属製品、電気機械、精密機械、その他の製造（プラスチック製品やゴム製品など）で被害があったとする企業が多かった。非製造業でも「間接的被害があった」が17.7%にのぼり、特に、自動車関連の卸売、小売、サービスで被害があったとする企業が多かった。建設業では「元々、関係ない」が69.3%と最も多く、「わからない、把握できていない」が20.5%、「間接的被害があった」が5.7%、「その他」が4.6%と続いた。

被害や影響の内容（複数回答）については、「仕入先の被害で材料の調達難や納期遅れなどがある」が53.9%と最も多く、直接被害はなかったものの、サプライチェーン（原材料・部品等の調達網）の寸断による混乱がみられた。また、「販売先の被害で生産・売り上げの減少、売掛金回収難などがある」が42.9%にのぼった。

業種別にみると、製造業では「販売先の被害で生産・売り上げの減少、売掛金回収難などがある」が61.8%にのぼり、特に、金属製品、その他の製造からの回答が多かった。建設業、非製造業では「仕入先の被害で材料の調達難や納期遅れなどがある」（それぞれ60.0%、74.2%）が最も多くなった。

## ◆タイの洪水による被害や影響について

## 【図1-①、図1-②、表1】

## …約2割の企業が影響を受ける

『タイの洪水による被害や影響』について尋ねたところ（図1-①）、現地の工場が浸水や生産停止などの直接被害はなかったものの、「取引関係上で直接的な被害があった」が1.3%、「間接的な被害があった」が16.8%となった。「元々、関係ない」が61.5%と最も多かったものの、何らかの被害や影響を受けている企業（「取引関係上で直接的な被害があった」と「間接的な被害があった」の合計）は約2割（18.1%）にのぼった。「わからない、把握できていない」とする回答も15.4%あり、また「その他」（2.3%）とした具体的内容（表1）では、「今後影響が出る可能性がある」とする企業もみられ、洪水が長期化すれば被害や影響が拡大する恐れがある。

業種別にみると（図1-①）、**製造業**では「元々、関係ない」が57.0%と最も多く、「間接的な被害があった」が19.9%、「わからない、把握できていない」が13.2%、「現地との取引はあるが被害はなかった」が5.2%、「取引関係上で直接的な被害があった」「その他」がともに2.4%と続いた。特に、金属製品、電気機械、精密機械、その他の製造（プラスチック製品やゴム製品など）で被害があったとする企業が多かった。

**建設業**では「元々、関係ない」が69.3%と最も多く、「わからない、把握できていない」が20.5%、「間接的な被害があった」が5.7%、「その他」が4.6%と続いた。

**非製造業**では「元々、関係ない」が64.0%と最も多く、「間接的な被害があった」が17.7%、「わからない、把握できていない」が16.1%、「その他」が1.1%、「取引関係上で直接的な被害があった」「現地との取引はあるが被害はなかった」がともに0.5%と続いた。特に、自動車関連の卸売、小売、サービスで被害があったとする企業が多かった。

地域別にみると（図1-②）、何らかの被害や影響を受けた（「取引関係上で直接的な被害があった」と「間接的な被害があった」の合計）企業では、**湖北地域**が29.4%と最も多く、次いで**大津地域**（同20.0%）、**湖南地域**（同19.6%）と続いた。同地域には自動車関連企業や化学工業関連企業が集積していることから、被害や影響を受けたとする回答が多くなったと考えられる。

図1-① タイの洪水による被害状況について

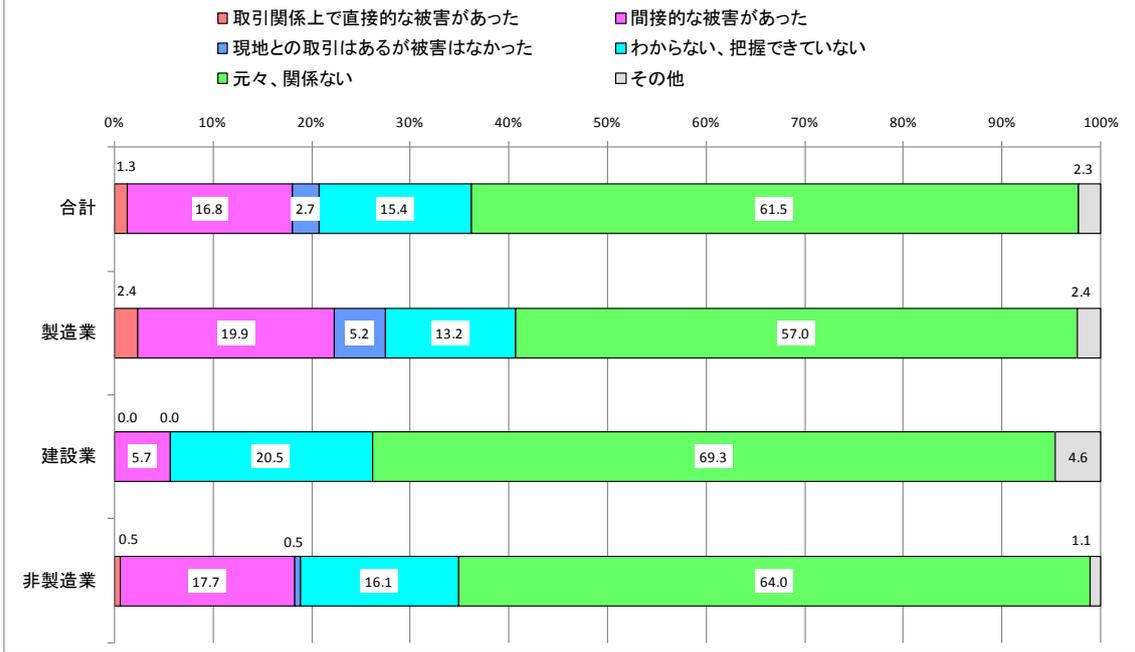


図1-② タイの洪水による被害状況について【地域別】

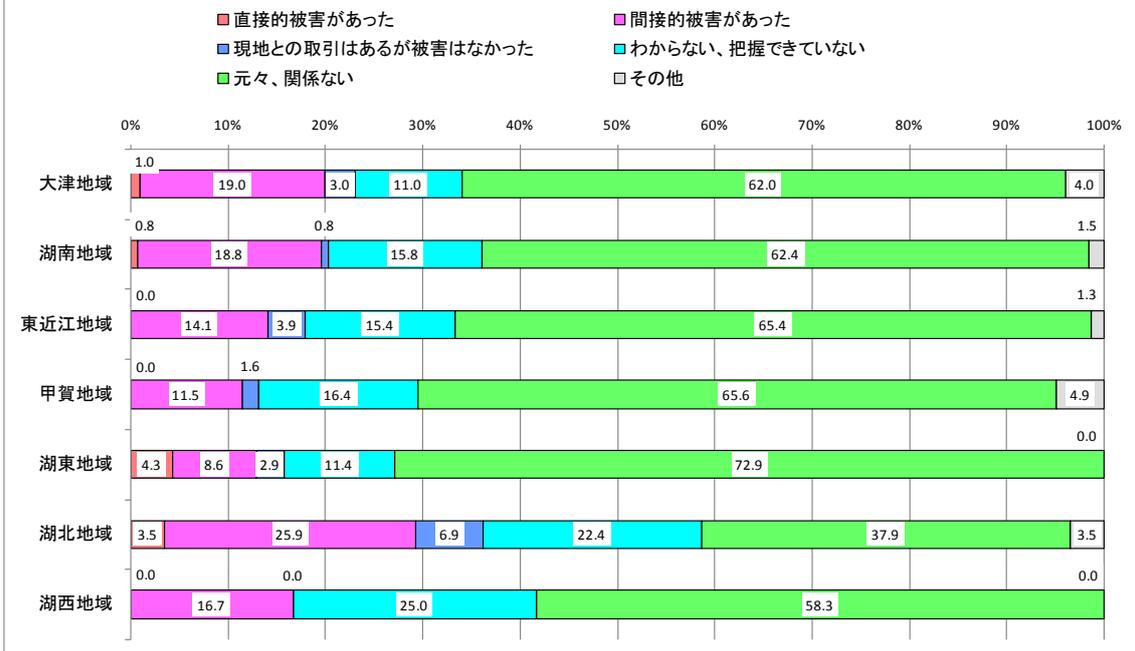


表1 タイの洪水による被害状況について【抜粋】

大業種	中業種	今期業況	被害状況(その他)具体的内容
製造業	食料品	やや良い	今後、影響が出る可能性がある。
製造業	一般機械	やや悪い	今後、影響が出ると考える。
建設業	建設	良くも悪くもない	今後、間接的被害がある見込み。
建設業	建設	良くも悪くもない	メーカーの納期問題(納期遅延)。

## ◆被害や影響の内容について【図2、表2】

…「仕入先の被害で材料の調達難や納期遅れなどがある」企業が最も多く、

## サプライチェーンの寸断による混乱がみられる

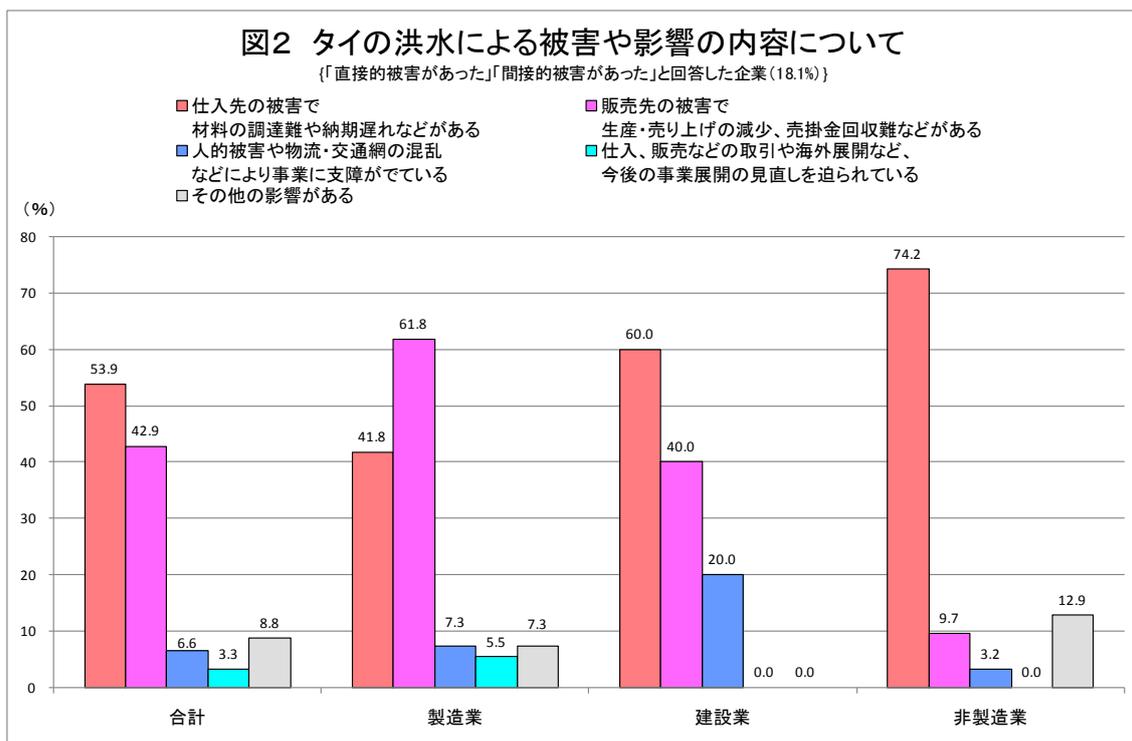
つぎに、「取引関係上で直接的な被害があった」、「間接的な被害があった」と回答した企業(計18.1%)に対し『被害や影響の内容について』(複数回答)尋ねたところ(図2)、「仕入先の被害で材料の調達難や納期遅れなどがある」が53.9%と最も多く、直接被害はなかったものの、サプライチェーン(原材料・部品等の調達網)の寸断による混乱がみられた。次いで、「販売先の被害で生産・売上げの減少、売掛金回収難などがある」が42.9%、「その他の影響がある」が8.8%、「人的被害や物流・交通網の混乱などにより事業に支障がでている」が6.6%、「仕入、販売などの取引や海外展開など、今後の事業展開の見直しを迫られている」が3.3%と続いた。

業種別にみると(図2)、**製造業**では「販売先の被害で生産・売上げの減少、売掛金回収難などがある」が61.8%と最も多く、特に、金属製品、その他の製造からの回答が多かった。次いで、「仕入先の被害で材料の調達難や納期遅れなどがある」が41.8%、「人的被害や物流・交通網の混乱などにより事業に支障がでている」「その他の影響がある」がともに7.3%、「仕入、販売などの取引や海外展開など、今後の事業展開の見直しを迫られている」が5.5%と続いた。

**建設業**では「仕入先の被害で材料の調達難や納期遅れなどがある」が60.0%と最も多く、「販売先の被害で生産・売上げの減少、売掛金回収難などがある」が40.0%、「人的被害や物流・交通網の混乱などにより事業に支障がでている」が20.0%と続いた。

**非製造業**では「仕入先の被害で材料の調達難や納期遅れなどがある」が74.2%と圧倒的に多くなり、特に、自動車関連企業からの回答が多かった。次いで、「その他の影響がある」が12.9%、「販売先の被害で生産・売上げの減少、売掛金回収難などがある」が9.7%、「人的被害や物流・交通網の混乱などにより事業に支障がでている」が3.2%と続いた。

「その他」とした回答の具体的内容をみると(表2)、「販売先の被災で生産調整があり、在庫増につながっている」、「本来おこなわれる予定の建設が遅れた」などの回答がみられた。



**表2 タイの洪水による被害や影響の内容【抜粋】**

大業種	中業種	被害状況	被害や影響の内容(その他)具体的内容
製造業	その他の製造	間接的被害があった	取引先の部品調達困難。
製造業	精密機械	間接的被害があった	販売先の被害で生産調整があり、在庫増につながっている。
非製造業	卸売	間接的被害があった	車輻関係が多く、その影響は多大。
非製造業	小売	間接的被害があった	新車の納期が遅れている。よって、下取りに時間を要し、下取り価格が下がる。
非製造業	卸売	間接的被害があった	本来行われる予定の建設が遅れた。

(株)しがぎん経済文化センター  
 三宅 大吾